

VISION



学校法人 東京成徳学園

100

TOKYO

SEITOKU

東京成徳ビジョン100

INDEX

03 建学の精神と五つの教育目標

04 理事長メッセージ

05 ビジョンの目標について

06 重点目標

07 教育体制の戦略

09 東京成徳大学

11 東京成徳短期大学

12 東京成徳大学中学校・高等学校

13 東京成徳大学深谷中学校・高等学校

14 東京成徳短期大学附属幼稚園／
東京成徳短期大学附属第二幼稚園

15 経営基盤の戦略

16 ネットワークの戦略

17 学校法人 東京成徳学園 一覧



東京成徳幼稚園
(現東京成徳短期大学附属幼稚園)開園

1953

学制改革により東京成徳高等学校
(現東京成徳大学高等学校)開校

1948

学制改革により東京成徳中学校
(現東京成徳大学中学校)開校

1947

1931

東京成徳高等女学校に改称

1926

王子高等女学校(4年制)創立

東京成徳学園創立100年 2025

東京成徳学園創立90年
「東京成徳ビジョン100」発表 2015

東京成徳大学深谷中学校開校 2013

東京成徳大学大学院開設 1998

1993 東京成徳大学開学

1976 東京成徳短期大学附属第二幼稚園開園

1965 東京成徳短期大学開学

1963 東京成徳学園深谷高等学校
(現東京成徳大学深谷高等学校)開校



建学の精神と五つの教育目標

建学の精神「成徳」と 創立者菅澤重雄先生



創立者菅澤重雄先生は、教育家であるとともに、国会議員であり、実業家でした。先生は、学園創立に当たり、「教育の要は徳育である」との信念と、ご自身の経験に基づく「実務に役立ち、勤労の尊さを知る教育」の重要性に鑑み、「徳を成す人間の育成」を建学の精神とされました。

創立者の思いを継承する 「五つの教育目標」

第三代理事長であった木内四郎兵衛先生は、戦後の学園の目指すべき教育目標として「五つの教育目標」を掲げて、現在の学園発展の基礎を築かれました。「五つの教育目標」は、現在も学園の教育目標となっています。

1. おおらかな徳操
2. 高い知性
3. 健全なる身体
4. 勤労の精神
5. 実行の勇氣

TOKYO SEITOKU VISION 100

学園創立100年 (平成37年)を 目指して



学校法人 東京成徳学園
理事長 木内秀樹

東京成徳学園は、大学院、大学、短期大学、高等学校、中学校、幼稚園を擁する総合学園として、平成27年に創立90年を迎えました。平成27年3月末までの卒業生総数は11万8千名を超え、平成27年5月1日現在の学生・生徒・園児数は、5,425名となっています。

創立90年を記念して、学園が目指す創立100年（平成37年）のビジョン（東京成徳ビジョン100）を作成し、拡大・多様化し続ける学園の指針としました。このパンフレットは、広く学内外の方々に東京成徳ビジョン100の内容をご理解いただくため、そのエッセンスをまとめたものです。

学園は、「建学の精神」と「五つの教育目標」を継承し、また、これからの10年を見据え、目指す創立100年の将来像を「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」としました。

今後学園は、ビジョン実現のため、「オール東京成徳」として最善の努力でのぞむ所存ですので、皆様には従来にも増して本学園に対する一層のご理解とご支援、さらなるご指導を賜りますよう、心よりお願いいたします。

「成徳」の精神を持つ グローバル人材

21世紀におけるグローバル化の進展により、国や企業の枠組みを超えてリーダーシップやコミュニケーション力を発揮できる「グローバル人材」の育成が、日本の教育界の取り組むべき最大の課題となっています。

「グローバル人材」には、語学力はもとより、①主体的な思考、意見を持ち、行動できる、②チャレンジ、リトライができる、③多様性を理解し、受容し、多様なものと連帯できるマインドがある、④日本人としてのアイデンティティーを持つ、ことが求められています。

東京成徳学園の建学の精神は、「徳を成す人間の育成」です。21世紀における本学園の教育目標は、建学以来培ってきた学園の「成徳」の精神をグローバル社会の中で発揮することのできるグローバル人材の育成です。

東京成徳ビジョン100では、学園が目指す将来像を「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」として、①教育体制、②経営基盤、③ネットワークの3つの課題について重点目標を定め、その実現のための戦略を構築しました。



FUTURE

英語
コミュニケーション
能力
×
IT教育

IMAGE

学園全体としてグローバル人材育成のため 教育環境を重点整備

学園全体の英語コミュニケーション能力の向上とIT教育の取り組みと成果を把握するとともに、自らその推進に当たる専門組織を設置します。



各教育段階で重点目標を掲げ 教育体制を整備



各教育段階の重点目標

高等教育

- 社会ニーズに対応した学部・学科編成
- 教育の質の向上
- 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得
- 大学・短期大学の発展につながるグローバル化

中等教育

- 創造性とチャレンジ精神の涵養
- グローバル人材育成での社会的評価の獲得
- 大学入試の変化等にもなう教育内容の変化への対応

幼児教育

- 幼児教育環境の変化に対応する幼児教育プログラムの再構築
- 大学、短期大学、両幼稚園間での連携の深化

▶ 東京成徳大学

グローバル化を視野に教育の質を向上し、
学部・学科編成及びキャンパス編成を見直すことで規模を拡大

2018年(平成30年)以降の大学学生数減少のリスクに備えるため、まずは既存の3つの学問分野(①人文学・心理学、②経済学・経営学、③教育学・育児学)における教育の質の向上に注力します。さらに学部・学科編成とキャンパス編成の見直しによって、段階的な規模拡大を図ります。また、グローバル人材の育成に加え社会のニーズに応えた専門性の多様化、職業人・社会人基礎教育の充実、キャンパス立地に対する利便性の向上、国際化センターの設置などを今後10年間にわたり推進して、大学のブランド力、募集力、社会的な評価を高めていきます。

今後も高度化、
多様化し続ける
大学へのニーズ

グローバル人材育成

+ 多様化する人材育成ニーズ

教育の質の向上

+ 職業人・社会人の基礎教育ニーズ

キャンパスの特長の活用

+ キャンパスへの地域ニーズ

的確な対応により、

大学ブランドを強化し

大学学生数の減少が予想されている2018年(平成30年)以降でも、

大学規模の拡大

を目指します。



重点目標

3つの学問分野(①人文学・心理学、②経済学・経営学、③教育学・育児学)から成り、大学全体で学生数が2,600名を超える規模を持つ大学

1

施策

- 社会ニーズに対応した学部・学科への再編成を行い、大学ブランドを強化します。
- 最適立地を目指したキャンパス編成を実施し、学生層を拡大します。

重点目標

教育の質の向上
就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得

2

施策

- 教育改善を持続し、その成果である就職やキャリアの実績を社会に訴求して、受験生の質の向上及び数の増大に結びつけ、大学ブランドを強化します。
- 入試・広報を強化し、組織的に受験生層の拡大と訴求力の向上を目指します。

重点目標

大学の発展につながるグローバル化の推進

3

施策

- キャリアと結びつく海外留学機会の拡大などにより、学生のグローバル環境への理解・体験を深化させます。
- 留学生の学修支援により、留学生からの評価を高めます。



▶ 東京成徳短期大学

保育現場で求められる実践力を養う教育 附属幼稚園や近隣地域との連携をさらに推進

幼児教育科の1学科に集約を終えた短期大学。開学50周年の節目を本年迎え、さらなる競合他校との差別化を目指し、以下の重点目標を具体的な戦略として掲げました。

重点目標

幼保連携型認定こども園の創設にともない問われる保育の質 より一層社会ニーズに対応した教育を実施

1

施策

● 幼保連携型認定こども園の創設にともない学科内容を改善。長時間保育における幼児教育・保育の在り方など、多岐にわたる実践力を養います。

重点目標

カリキュラムの体系化、大学・附属幼稚園との連携、演習授業等を通じ 教育の質を向上。幼児教育のプロフェッショナルを育成

2

施策

● 実践力や人間力を培う段階別学修が可能となるカリキュラムツリーの整備を段階別に推進します。 ● 教員の教育力向上のためのFD（ファカルティ・ディベロップメント）、教育に関する教育評価を実施します。 ● 教員各々の専門性を有効に活用する教育体制、実習場や実践力の育成の場としての附属幼稚園の活用などにより、教育内容を充実します。 ● 幼児教育のプロとして現場で対応できる専門的・実践的能力を身につけた人材を養成します。外部の保育者を講師に迎え、幼児教育の喜びや使命感などを常に啓発します。

重点目標

就業力アップや社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得 卒業後も長く支援する再就職支援システムの整備

3

施策

● 就職時の年齢の経験不足による弱点克服のための社会力強化を図ります。文章力・理解力・コミュニケーション力・マナーなどを演習やゼミ形式で補完できるよう改善します。 ● 現場で求められる人材育成のため、理論だけでなくロールプレイ授業などを取り入れ、実践的スキルを養います。 ● 卒業生の再就職システムやリカレント教育などを整備し、運用します。

重点目標

幼児教育現場の国際化にともなう国際理解教育の必然性 コミュニケーションスキルの高さを目指すグローバル教育

4

施策

● 諸外国の幼児教育事情を理解する教育に力を注ぎ、外国教育機関との国際交流を推進。諸外国での保育実践やレクチャーを単位化できる方向で検討します。 ● チームや集団活動の重要性と必要性についての認識をグループセッションにより育て、主体的に考え行動できる人材を養成します。 ● 異文化への理解を深め、他国の幼児・保護者とコミュニケーションをとれるスキルを養います。

▶ 東京成徳大学中学校・高等学校



私学の中高一貫校としてのブランディングを確立 今後も他の公立・私学との差別化を明確に

今後10年間に向け、少子化の波を受けた私学間の競争の激化が見込まれる今、公立学校との差別化や中高一貫教育の推進により中等教育全体の質を高める必要があります。今後はさらに以下の重点目標を達成し、他の私学との差別化を図ります。

重点目標

創造性とチャレンジ精神を涵養し 主体的に学び、考え、行動する人材を育成

1

施策

● 建学の精神「成徳」を有し、主体的に学び、考え、行動する人材を育成します。自分の生き方を考える講座「自分を深める学習」を深化させ、主体的な学びの核とします。 ● 理数教育を改善強化します。クリティカル・シンキング・プログラムやワークショップなど能動的な活動を取り入れ、教育方法の質的転換を図っていきます。 ● 「文“部”両道」をスローガンに課外活動や生徒会、行事への参加を奨励。主体的に取り組む姿勢や、仲間と連携して目標や課題にチャレンジして達成する経験を身につけさせます。 ● 教育方法の転換・改善に対応して、教員の組織的な研修体制を強化します。

重点目標

グローバル人材の育成の強化を図るとともに 社会的評価の獲得を目指して

2

施策

● 意欲と行動力に富む人材を育成します。とくに中高一貫教育では、海外留学の必修化を検討し、グローバル人材育成の強化を図ります。 ● 異文化理解とコミュニケーション能力を向上させるため、留学機会の拡大と留学生受け入れによる校内の国際化や海外教育協力校との連携と積極的交流(アメリカ、オセアニア、アジア地区など10校程度)を行います。 ● 英語教育の改善のため以下の具体的な諸施策を実施します。①教員の指導力向上(研修の充実)、②英語コミュニケーション能力の向上、③スピーチコンテスト、プレゼンテーションコンテストなどの実施や、TOEFL®テスト等の国際的基準を満たす語学検定試験挑戦への取り組み、④外国人教員増員などによる日常的に英語を話す機会の拡大 ● ICTの活用と情報リテラシー教育を推進します。

重点目標

大学入試の変化等にもなう 教育内容の変化への対応

3

施策

● 教科研究、研修会参加などにより、個々の教員の指導力向上を図ります。 ● 大学入試改革の内容と実施の状況を検証し、生徒の高等教育への進学希望をかなえる進路指導を行います。 ● 年度毎に進学目標を設定し、その実現に向けて取り組んでいきます。



▶ 東京成徳大学深谷中学校・高等学校

「グローバルな人材」「自立する社会人」へ、一人ひとりを育てる
アクティブ・ラーニングを通し成長への主体的意欲を引き出す

埼玉県北部・深谷市にある深谷高等学校は、東京の高等学校が有する中等教育のノウハウをベースに誕生。地域のニーズに応じて、完全中高一貫制を実現した深谷中学校を平成25年に開校しています。今後10年に当たり、以下の目標を達成することで、「グローバルな人材」、「自立する社会人」として生徒一人ひとりを育てていきます。

重点目標

机上の学習をリアルな主体的実体験へ
生徒の能力や学習意欲を引き出す授業を展開

1

施策

● 教員の授業力アップ(研修、互見授業、授業観察、先進校視察等)、授業の量的・質的確保、アクティブ・ラーニング手法の導入など、生徒の能力や学習意欲を引き出す授業を展開していきます。 ● 体育祭、桐蔭祭等行事の充実、部活動の活性化、教員の指導力アップ(研修、先進校視察等)により、主体性を引き出す特別活動(行事や部活動等)を展開します。 ● スピーチコンテスト、プレゼンコンテスト、宿泊農村生活体験、修学旅行、ホームステイ、学期留学、インターンシップ、保育園・幼稚園実習等行事など机上の学習を実体験として生かす機会を今後も数多く設定します。 ● 理科教育の充実の現状把握と改善策を検討します。

重点目標

外国語教育の充実・外国文化の理解などで
グローバル人材育成での社会的評価の獲得

2

施策

● 英語検定・TOEIC®テスト対策を通じ英語教育を充実します。 ● コミュニケーション能力の向上を意識した教育活動(英語スピーチコンテスト、英語プレゼンテーション、英語ディベート等)の充実を図ります。 ● 教員の指導力アップ(研修、先進校視察等)、指導者の確保、留学生との交流・受け入れなどにより外国文化・日本文化の理解を推進。ロータリークラブ等外部団体との連携を含め、海外姉妹校についての検討を進めます。 ● 保護者、教育関係者、地域住民などへ教育活動の公開を複数回実施。学校関係者評価や第三者評価を活用します。

重点目標

大学入試の変化等にもともなう教育内容の変化への迅速な対応
受験指導における「東京成徳深谷サポーター制度」の導入検討も

3

施策

● 入試形態の現状を把握し対応策を検討。生徒の進路希望調査と高みを目指す指導を行うと同時に進路関係行事を充実させていきます。 ● チームとして入試問題の分析や模試分析を行い、平成28年度新入生から新しい教育課程へ学年進行で移行します。 ● 「オール東京成徳」の一環として同窓会との一層の連携を強化。受験指導における「東京成徳深谷サポーター制度」の導入を検討します。

▶ 東京成徳短期大学附属幼稚園

高等教育機関の附属幼稚園として 地域に寄り添い発展

少子化の波を受け始めるなか、高等教育部門の附属幼稚園としての特色を生かすとともに、地域社会のニーズに沿う幼稚園として発展。今後も教育の質保証及び質向上に教育改善の重点を置いた以下目標を達成し、その具体的成果を地域社会にアピールする方針を持続していきます。

重点目標

幼児教育環境の変化とグローバル化に対応した 幼児教育プログラムの再構築

1

施策

● 「こども園」の実施推移を検証しながら、平成29年度までに方向性を定めます。 ● 従来からのカリキュラムを基本に以下の改善を継続します。①基本的な生活習慣、②脳の発達をもたらす継続的な全身運動、③音楽・美術や日本の伝統行事などに関心を持たせる特別な情操教育プログラム ● グローバル化対応プログラムとして、楽しみながら体験するコミュニケーション英語や異文化に触れるイベントを行います。 ● 年齢に応じた園児の主体性を育む教育を実施。クラス内1分間スピーチなども積極的に取り入れます。

重点目標

高等教育機関の指導援助を受ける実習園として 大学、短期大学、両幼稚園間での学園内連携を深化

2

施策

● 大学や短期大学から教育に関する指導援助を受けるとともに両高等教育機関の学生の実習園としての機能を維持します。 ● 第二幼稚園との相互視察研修・研究を通し、教育内容の改善に努めます。

▶ 東京成徳短期大学附属第二幼稚園

保護者や地域の人々に信頼され ともに学び合う幼稚園へ

幼児教育環境が大きく変化していくなかで、改めて、保護者や地域の方々から信頼され、ともに学び合う楽しさが実感できる幼稚園にすることが大切だと考えます。豊かな遊びを通じておらかな情操を深める幼児教育を目的に、総合学園ならではの特長を最大限に生かすべく、以下の施策を実施します。

重点目標

園児の興味・関心・目線に合った、 素直な感性を育てるための創意ある幼児教育プログラムの編成

1

施策

● 創意ある教育課程の編成を工夫。体操教室、英会話教室、スイミングなど、園児の興味・関心に合った活動を充実させます。また、運動会・作品展・発表会等の行事を通じ一人ひとりの成長を見届けます。 ● 本園の活動や実態を地域社会にアピールし、保護者の要望に応える運営体制の改善を図ることで入園児を確保していきます。

重点目標

大学・短期大学、両幼稚園間のより強い連携、 地域との温かい交流の深化

2

施策

● 大学・短期大学と連携した活動「わくわく広場」やその後の研修会に継続して取り組みます。 ● 各種研修での教員の資質向上を図ります。 ● 附属幼稚園との交流や情報交換、近隣小・中学校との教員同士や子ども同士の交流など、多面的な連携を深めます。 ● 地域住民との交流を図り温かな人間関係を醸成。保護者や地域社会からの信頼をより一層高めていきます。

グローバル人材を育てる教育体制の根幹を担う 確固たる経営基盤を確立するために

創立100年に向けたこれからの10年は、国内では少子化がさらに進み、人口も徐々に減っていく10年でもあります。少子化に対応しながらも、学園全体としては規模の拡大を図っていくことを目指します。今回のビジョンで掲げた、グローバル人材を育成する今後の教育体制を支えるために、以下にあげる経営基盤の拡充を基本方針とします。

重点目標 大学の規模拡大とブランド力の強化で学園全体のスケールアップを

施策

【大学】大学ブランドを一層強化し、学部・学科・キャンパスの再編成を行い、全学生数2,600名を超える規模へ拡大していきます。

【短期大学及び中等・幼児教育部門】これまで学園の基盤を築いてきたこれらの部門においては、引き続き建学の精神を生かした教育を行い、現状規模を維持。短期大学360名、中等教育3,500名、幼児教育500名規模の定着化を目指します。また、初等教育への展開についても検討していきます。

重点目標 社会的ニーズに対応した戦略的な施設・設備の整備

施策

● 資産効率が高まると同時に、学生・生徒・園児の安全性と快適性が増すよう、遊休資産の処分や分散した施設の集約を推進。施設設備の建替えやリニューアルを行い、ソフト・ハード両側面からのセキュリティ対策を順次進めます。 ● 短期大学附属幼稚園園舎、深谷高等学校校舎、高等部校舎は、建築後50年ほど経過し、建替え時期を迎えています。災害への備えも視野に入れ、計画的な建替えを順次目指します。

重点目標 補助金・寄付金の獲得、諸経費の節減により、より安定的な財務へ

施策

● 各部門の定員確保を確実に行うことでの収益向上とともに、多様な補助金や寄付金の獲得に注力していきます。 ● 部門間を含めた業務の徹底した見直し・合理化、人員の適正配置、多様な人材の活用及び教職員のスキルアップにより、人件費に関する節減対策を徹底。諸経費に関しても、相見積等できめ細かな努力により具体化していきます。 ● これらの施策によって、事業活動収支差額比率（従来の帰属収支差額比率）が、安定的に5%を上回るよう注力します。

重点目標 教員・職員ともに、さらなる活力を生む人事制度へ移行

施策

【教員】公募制や任期制などの採用制度を導入し、人員の適正配置・多様な人材の活用を推進します。学生・生徒による授業評価や、個人別には、PDCAサイクルを活用した客観的評価制度の導入を検討。加えて、相互啓発と教育スキルの向上を図っていきます。 【職員】中途採用やパートタイマー、人材派遣スタッフなども併せて採用。能力・実績主義による人事制度への移行を検討し、階層別や業務別の研修及び能力開発を強化していきます。

「オール東京成徳」としての連携と絆 学園全体のネットワークをより強固にするために

創立100年に向け、これまで学園の教育及び経営基盤を支えてきた、学生・生徒・教職員・同窓生のつながりに保護者・後援会・地域まで広範囲に包括した「オール東京成徳」のネットワークを強化していきます。また、地域自治体等の地域社会との連携についても、近年における進展をベースに、学園のプレゼンス強化及び学生・生徒の教育内容の充実を目的として、より積極的に取り組んでいきます。

重点目標

創立100年記念イベントを実施することで 「オール東京成徳」としての学園ネットワークを強化

1

施策

- 同窓生、保護者、後援会を対象とする創立100年記念行事を開催し、学園全体としてのプレゼンスをより強化していきます。
- 大学、短期大学、高等学校、深谷高等学校など学校間でのスポーツ・芸術活動の「場」を構築して、「オール東京成徳」としての一体感を高めていきます。

重点目標

これまで推進してきた地域社会及び自治体との連携をより強固に 学園の一体感をアップ

2

施策

- これまで推進してきた地域社会への支援活動や共同プロジェクトをふまえ、学園創立100年に向けて地域社会との交流がより活発化することを目的とするイベントを開催していきます。
- 各校・園の周年行事において、学園創立100年と連携したイベントを実施します。





学校法人東京成徳学園

- 学校法人東京成徳学園法人本部
〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9
TEL:03-3911-2411
URL:<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/>

- 東京成徳大学

[子ども学部] 子ども学科 [経営学部] 経営学科
[応用心理学部] 臨床心理学科、福祉心理学科、健康・スポーツ心理学科
[人文学部] 日本伝統文化学科、国際言語文化学科
[大学院] 心理学研究科臨床心理学専攻

- 十条台キャンパス

〒114-0033 東京都北区十条台1-7-13
TEL:03-3908-4530

- 八千代キャンパス

〒276-0013 千葉県八千代市保品2014
TEL:047-488-7111
URL:<http://www.tsu.ac.jp/>

- 東京成徳短期大学

幼児教育科
〒114-0033 東京都北区十条台1-7-13
TEL:03-3908-4530 URL:<http://www.tsu.ac.jp/>

- 東京成徳大学中学校・高等学校

【中高一貫部】〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 TEL:03-3911-7109
【高等部】〒114-0002 東京都北区王子6-7-14 TEL:03-3911-5196
URL:<http://www.tokyoseitoku.jp/>

- 東京成徳大学深谷中学校・高等学校

〒366-0810 埼玉県深谷市宿根559
TEL:【中学校】048-573-1784 TEL:【高等学校】048-571-1303
URL:【中学校】<http://www.tsfj.jp/> URL:【高等学校】<http://tsfh.jp/>

- 東京成徳短期大学附属幼稚園

〒114-0003 東京都北区豊島8-24-2
TEL:03-3911-6337
URL:<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/>

- 東京成徳短期大学附属第二幼稚園

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合1-9-4
TEL:048-854-2151
URL:<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind/>

◆ 東京成徳大学深谷中学校・高等学校

◆ 東京成徳短期大学附属第二幼稚園

◆ 東京成徳大学・大学院
◆ 東京成徳短期大学
(十条台キャンパス)

◆ 学園法人本部
◆ 東京成徳大学中学校・高等学校
◆ 東京成徳短期大学附属幼稚園

◆ 東京成徳大学
(八千代キャンパス)



東京成徳ビジョン100
 発行者 学校法人東京成徳学園
 東京都北区豊島8-26-9
 03-3911-2411
 発行日 2015年11月1日

TOKYO SEITOKU

100

東京成徳ビジョン100



TOKYO SEITOKU
学校法人 東京成徳学園